

平成 24 年度指定

重要文化財（建造物）^{たいあん} 泰安寺本堂及び表門2棟

^{つけたり} 附 寛永 21 年本堂建立棟札、宝暦 6 年表門修理棟札各 1 枚



泰安寺本堂



泰安寺表門

泰安寺は、津山藩主松平家の菩提所となった浄土宗寺院です。本堂は、寛永 21 年（1644）の建築で江戸時代初期の浄土宗本堂の形態をよく保つ優れた建物です。表門は、17 世紀中期の建築で、^{つまかざり} 妻飾に華やかさをみせる優作です。

重要無形文化財 神伝流古式泳法



神伝流古式泳法（^{がんにゅう}雁行 ^{もろておおぎ}諸手扇）

神伝流古式泳法は、古式泳法の一つで、愛媛県大洲市を発祥地とし、天保 5 年（1834）津山藩で正式採用されました。泳法は、^{あお}煽り足・沈み体で、^{やくらわぎ}櫓業など 50 余種類があり、実用的泳法の技術と技法が現在によく伝承され、その様式美も高く評価されています。